

宮本輝ミュージアム 秋の企画展

# 青が散る

A O G A C H I U

色褪せない日々が、ここにある。

追手門学院大学第1期卒業生の宮本輝氏が母校を舞台に描いた、青春小説の世界へご案内します。

2009 10/10 (sat) ▶ 2010 1/14 (thu)

授業期 [開館時間] 9:20-19:50(平日) 土曜日は17:00まで  
[休館日] 日曜、祝日、10/30、11/19・20、12/3・26~1/5  
※10/11、11/1・23、12/20は開館します。但し開館時間は変わります。ご注意ください。

学休期 12/24・25、1/6は18:00まで開館します。

詳しくは図書館HPでご確認  
いただくか、直接図書館に  
お問い合わせください。

追手門学院大学附属図書館  
宮本輝ミュージアム

# 青が散る

宮本輝ミュージアム 秋の企画展

A O G A C H I R U

2009年秋、「宮本輝ミュージアム」では、青春小説の「王道」と評される「青が散る」をテーマに企画展を開催します。

1966年、宮本輝氏は、追手門学院大学に第1期生として入学しました。作品の登場人物たちと同じくテニスコート作りからはじめ、テニスに打ち込む大学生活でした。そして、「道頓堀川」が、私の青春の“夜”を描いたものだとすれば、この「青が散る」は「昼」の部分を描いたものだということができます。」（「青が散る」文藝春秋1982年刊あとがきより抜粋）と記しているとおりの、自身の青春の日々をもとに、本作品を執筆しました。

今回の企画展では、作品の主な舞台である本学に焦点を当てます。作品に登場する校舎の写真や卒業アルバムに加えて、登場人物のモデルとなった実在の人物もご紹介します。この機会にぜひ足をお運びください。

## 〈作品のストーリー〉

大学開学と同時に誕生したテニス部。主人公の燎平、キャプテンの金子をはじめとする個性的な部員たち、マドンナ的存在である夏子などのヒロインたち。今も昔も変わらず悩み、立ち止まり、そして青春の日々を駆け抜ける等身大の若者の姿がいきいきと描かれた長編小説。

## 展示物紹介

- ① 直筆原稿（複製）
- ② 作品紹介
- ③ 追手門学院大学第1期生 卒業アルバム
- ④ 作品舞台MAP 追手門学院大学編 他

（「青が散る」直筆原稿より抜粋）

この新しい大学で、大学としての完成した形も感じることには、もう燎平はさうも手を添えていられないのだ。

（中略）

あとは何もなかった。

ここからほんま倉庫へ入って行く

だから坂があるだけで、

バス乗り場と、舗装された長い坂道と、

四階建この一号館と、



開学道の追手門学院大学

「青が散る」をテーマにした絵画

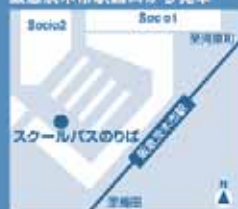
「青が散るによせて」



追手門学院創立120周年を記念して、絵画「青が散るによせて」の制作を、宮本氏の新聞連載4作品のさし絵を手掛けた日本画家・坂上楠生（さかがみなんせい）氏に依頼しました。この絵画は、大学から校友会に寄贈され、将軍山会館（校友会館）に飾られています。どなたでもご鑑賞いただけますので、企画展と併せてご覧ください。

## スクールバス利用

阪急茨木市駅西口から発車



※スクールバスの時刻表につきましては図書館HPでご確認ください。

JR茨木駅マイカル茨木橋から発車



## 阪急バス利用

「JR茨木」から  
「追手門学院前」下車  
（JR茨木駅前3番バス乗場  
[B2・B3系統]）



追手門学院大学 附属図書館  
宮本輝ミュージアム

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-9639  
URL: <http://www.oulib.otemon.ac.jp/>



追手門学院大学